

合併市町村住民組織活性化支援事業

小国の生んだ名力士柏戸・両国を顕彰する会 結成記念講演会のご案内

●両力士を顕彰する会会長 大橋義治

山深い小国郷は幕末から明治にかけて二人の名力士を生み出した。上岩田出身の柏戸（1810～1886）小栗山出身の六代目両国梶之助（1829～1904）である。柏戸は前頭筆頭が最高位、引退後柏戸宗五郎改め七代目伊勢ノ海を襲名、同郷の弟子両国を育てる。両国は嘉永2年上京し、関脇が最高位。慶応2年江戸で河井継之助と面会、長岡藩お抱え力士となる。小国民俗資料館には、この二人のコーナーを設けてある。小国文化フォーラムでは平成17年相撲シンポジウムを開いた。また平成21年、二人の力士の顕彰活動を熱心に推進していた法坂の若井一正遺作展を開催した。それでもなおこの二人の力士は地元でも知らない人が多い。ここに小国の誇る二人の力士の業績を顕彰するために、新しい会を結成した。



柏戸
上岩田出身(1810～1886)



両国
小栗山出身(1829～1904)

記

■日時 平成23年 8月6日(土) 午後2時

■会場 小国商工物産館 小国町法坂

■講師 新潟県相撲連盟顧問(5段位)・県相撲連盟史編纂委員長
広井忠男氏

■演題 素晴らしい相撲風土小国・越後の名力士達

講師プロフィール ひろいただお

昭和18年小千谷市生れ。早稲田大学 明治大学卒。新潟県議会副議長、青年会議所理事長、早稲田大学商議員などを経て、新潟県体育協会顧問。日本ペンクラブ会員。著書『越後柏崎郷花の相撲取り』（日本海企画社2002）『越後の野づらに相撲甚句が流れる』（日本海企画社）『耐える鋼鉄 羽黒山物語』（新潟日報事業社 1997）など

■連絡・申込先 長岡市小国町上岩田524-1 高橋実方 両力士を顕彰する会
TEL 0258-95-2340 FAX 0258-95-5034 E-mail fqjfp577@ybb.ne.jp

キーリットリ

参加申込 参加するものに○を付けてください。(8/1(月)申込〆切)

講演会に参加します()

顕彰会に入会します()

・住所

・お名前

・電話番号

